

例会報告：2014年5月13日（曇り） 第1842回 通常例会

☆ビジター

鈴木 吉兵衛様（小田原RC）

☆会員誕生日

大川 久弥さん（5月14日）

☆奥様誕生日

柳井 由美子さん（5月15日）

☆ニコニコ箱

上田 博和委員



	ニコニコ箱	累計	目標
5月13日分	19,000	977,941	1,300,000

☆ビジター

鈴木 吉兵衛様（小田原RC）…本日もおじゃまします。

☆会員誕生日

大川 久弥さん…本日は誕生日のお祝いをいただきありがとうございました。明日で54才になります。まだまだ未熟ですが、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

☆奥様誕生日

柳井 涉さん…妻の誕生日を祝っていただきありがとうございます。当日を楽しみにしています。

☆その他

河野 秀雄さん…①加藤さん、本日はお世話に成ります。貴君の祖父のバスターガバナーの宗兵衛様、父の宗兵衛清さん。私はお世話に成りました。思い出しております。②本日はバッチとネクタイがなくてすみません。

中村 維孝さん…妻とスペインのアンダルシア地方へ旅をして参りました。なかなか時差ぼけが治りません。弊社グループ会社より、「疲れとりアイマスク」という付録付きの本が出版され、大変好評のようです。

小嶋 章司さん…5月4日、太田さんが会長を務める山王東の祭礼に行ってきました。「太田さん、あなたはやっぱり祭りが似合うわ」色々ありがとうございました。

小川 和夫さん…4月30日、リスボンでスペインのブルマンートル号に乗船、ポルト、ラ・コルーニャ（サンティアゴ、デ・コンポステーラ）ビルバオ、セーヌ川河口の街、ル・アーブル、ドーバー、イムデン（キューケンホフ公園）、ドイツのプレーマーハーフェンに寄港し、スウェーデンのマルメ港下船、5月10日コペンハーゲン空港から帰国しました。7カ国一度にまわりました。

谷口 和雄さん…来る5月20日の施設見学会に都合により残念ながら参加出来なくなりました。誠に申し訳ありません。よろしくお願い致します。

上田 博和さん…本日は加藤様ありがとうございます。又、自分事ですが、今週の日曜日に破綻して図書館のない夕張に全国から200万円ほどの寄付を頂き、無事に無料貸し出し図書館を設置してきました。年内にもう1か所設置したいと思っております。

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2014年5月-

- ▶21日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:クラブ協議会」
- ▶22日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:久留 聡子様・ガバナー事務所事務局員/ロータリー」
- ▶23日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:次年度会長・幹事」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:」
- ▶26日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:川村 啓司会員/未定」
- ▶27日(火) 箱根 湯本富士屋ホテル 11:30
「卓話:社会奉仕 清掃作業10:00~11:00
例会11:30~」
- ▶28日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:未定/未定」
小田原城北RAC マロニエ201 19:30
「卓話:未来へのポートフォリオ作成」
- ▶29日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「卓話:クラブフォーラム/」
- ▶30日(金) 湯河原 M.U.受付なし
「卓話:家族親睦会」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:神戸 徹君(1991~92年度 副会長)/
会長(代行含)を経験し思うコト 専門職の中で
感動をした四方山話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:神戸 徹君(1991~92年度 副会長)/
会長(代行含)を経験し思うコト 専門職の中で
感動をした四方山話」

-2014年6月-

- ▶2日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:齋藤 正倫(株)プロマテリアル社長/
再生エネルギーについて」
- ▶3日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:澤田 君雄会員/クラブフォーラム」
- ▶4日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:調整中/調整中」
- ▶5日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:松本 真澄首都大学准教授/
高齢者が活き活きと暮らし続けるための街づくり」
- ▶6日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30~13:30
クラブ会報委員会
監修：金山 慶昭
編集長：久保田 知子
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：46名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2013-2014
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ロン D. バートン
【R.I. 2780地区ガバナー】
相澤 光春
【第9グループガバナー補佐】
井島 誠行



【会長】露木 清勝
【副会長】須賀 俊和
【幹事】金山 慶昭
【副幹事】木村 頼弘
【会場監督】杉崎 勝成

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

本日の例会：移動例会（第1843回）

会場：浅草ビューホテル 翔雲Ⅲ

日時：2014年5月20日 12:20~13:40

司会：木村 頼弘 副幹事

8:45	小田原駅西口集合
9:00	出発 途中 井細田・卸団地に停車 担当：指導者育成委員会
11:00	靖国神社参拝
12:20	【浅草ビューホテル（例会と昼食）】 開会点鐘：露木 清勝会長 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 会長挨拶 出席報告／ニコニコ箱
14:00	【施設見学】 パソナ アーバンファー 科学技術館
17:10	横浜中華街 金香樓(夕食／懇親会)
21:00	小田原駅西口解散

MEMO

【今後の例会・卓話スケジュール】

5月27日 通常例会 12:30

担当：プログラム委員会

卓話:松陰 弘一様(日本ボーイスカウト小田原地区協議会会長)

「内容:未定」

6月3日 通常例会 12:30 (理事会開催日11:00~)

担当：中野 明会員

卓話:程彩霞様(元米山奨学生)

「内容:未定」

6月10日 通常例会 12:30

担当：プログラム委員会

卓話:小川 和夫会員

「内容:国際交流について」

6月17日 通常例会 12:30

担当：大川 裕会員

卓話:守屋 輝彦神奈川県議

「内容:未定」

6月24日 通常例会 12:30 クラブ協議会

担当：執行部

卓話:執行部

「内容:この一年を振り返って」



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2014年5月13日（曇り）第1842回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2014年4月22日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



露木 清勝 会長

ゴールデンウィークを挟んで、3週間ぶりの例会です。皆様、お元気にゴールデンウィークを過ごされたでしょうか？先週の土曜日、ロン・パートンRI会長からビデオメッセージが入りました。内容は、会員増強に関する事で、ポリオの撲滅活動に次いでロータリーの最優先事項とのことでした。RIでは過去6ヶ月間で2万2000人会員が増えたそうです。しかしロータリーの本当の成長と変化は各クラブから起こるもので、いくつかのクラブ活性化事例を上げていられました。

大変興味深い事例のひとつは、アメリカオハイオ州のあるクラブでは、会員の活動にポイント制をひいているそうです。詳しい内容はわかりませんが、例会や各種大会、クラブや地区の様々な活動プログラム、これらに出席・参加するとポイントが与えられるのでしょうか？年間を通してのポイント数を競わせるのでしょうか？また、ジャマイカのあるクラブでは、クラブの会長を交換して、互いに学び合うそうです。これも詳しい内容はわかりませんが、何ともユニークな例だと思います。ロン・パートン会長はこの様な、積極的に革新的な行動を決して恐れないでくださいと強調されていました。

話は少し変わりますが、先日の新聞紙面に2040年に消滅可能性都市が、全国で896都市になるとの記事がありました。原因は、若年女性の大きな都市への流出によるものだそうです。神奈川県西部でも、お隣の箱根町・真鶴町・湯河原町・大井町・松田町・山北町と多くの町が載っていました。2040年までに後26年、随分先のようにもあつという間の時間かもしれませぬ。我々ロータリークラブの増強にもかなり影響があるというより、都市が消滅するという事は、ロータリークラブも増強どころか存続の危機に至ってしまいます。

❖ 幹事報告



金山 慶昭 幹事

1)今月のロータリーレートは102円です。
理事会報告
6月より9月までCoolBizを施行いたします。それに合せクーラーの温度設定も会場監督にお任せいたします。ただし、ジャケットはご持参ください。

ABBYのお父様が今月25日に来日され27日の例会にお見えになります。その後お世話になったホストファミリーにご挨拶に回るそうです。その夜に歓迎会を計画をしています。皆様にそのご都合をお聞きするお知らせがBOXに入っていますのでご回答を宜しく願いいたします。尚、国際奉仕プロジェクト引き継ぎ会も同時に開催されます。

「社会奉仕およびチャリティープロジェクト合同事業」で6月7日～22日まで開催されます「小田原城あじさい花菖蒲まつり」の15日（日曜日）に出店して事業を行うことが承認されました。詳細につきましては各プロジェクトリーダーから報告がござります。
27日の例会は、セレモニー等があるため10分延長になります。

❖ 出席報告

一寸木 信雄 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
5月13日	46(42)	38	0	90.48%
4月22日	46(42)	37	1	90.48%
4月15日	46(45)	38	2	88.89%

【欠席者】 4名
木村 啓滋、太田 忠、大川 裕、石内 正彦
【今回MU】 0名
【前回MU】 休会
【前々回MU】 休会

❖ 委員会報告

チャリティープロジェクト・柳井リーダー

社会奉仕とチャリティープロジェクト合同プロジェクト実施のご案内をしています。6/15小田原城あじさい花菖蒲まつりでブースを設け、その売り上げをアール・ド・ヴィーヴルさんに寄附する予定です。他の会員の皆様も販売参加募集中です。

次年度・大川幹事

例会終了後次年度の準備理事会があります。また本日5時から次年度の理事・役員・委員長会議がありますのでよろしくお願い致します。

齋藤エレクト

2年間当クラブで世話した口カくんから連絡があり、従兄弟の鶴亀が横綱になった昇進パーティーを東京で開催するそうです。6/14という日にちしか分かっていませんが、出席ご希望の方はお知らせください。3万円以上のお祝い金となります。

会報委員会・小林委員

会報の訂正です。1Pの6月3日卓話（米山奨学金学生）→（元・米山奨学金学生）、3Pの最初「小田原青年会議所第57代理事長」→「小田原城北ロータリークラブ次年度会長」に修正をお願いします。

❖ Table Flower

- カンパニユラ
- アスチルベ
- モンステラ

カンパニユラの花言葉は「感謝」「誠実」
アスチルベの花言葉は「自由」
モンステラの花言葉は「壮大な計画」



❖ 卓話

「二宮金次郎の弟子たち」

（一社）尊徳塾・加藤 宗兵衛 様



我が家では代々『加藤宗兵衛』という名前を継いでおり、私は10代目になります。伊勢原市で茶加藤という茶商を営んでいます。創業は享保13年（1728年）で286年目になりました。お茶屋は古い会社が多く、それぞれの土地に昔からの店が一軒はあるのではないのでしょうか。伊勢原は茶どころではないのですが、大山があり大山講と

言われる参拝をされる方が多かったことから、お茶を売り出したのではないかと思います。
加藤の先祖は加藤景忠という武田の家臣でした。北條氏政に負けて落ち延び、子供が伊勢原に土着したそうです。その代がお茶屋の養子を迎えて茶加藤が始まりました。棚卸勘定帳が残っており、最初が1728年だったのでその年を創業と定めています。また初めに迎えた婿養子が『宗兵衛』という名前でしたので、代々名前を繋いでいます。私は現在35歳。父が亡くなるまで2年しか一緒に仕事ができませんでした。JCや様々な諸先輩方に助けていただきました。祖父は伊勢原RCの初代会長で、私も昨年から入会いたしました。

二宮尊徳の話をさせていただきます。四代目の加藤宗兵衛が二宮先生に自分の抱えている問題を相談したことが発端で関係が始まり、今では若い人たちに尊徳の精神を伝えていこうと、尊徳塾を作り活動を推進しております。現代の日本には倫理観や道徳観が足りていない、力強さがないと感じています。その中で改めて小田原が生んだ偉人・二宮尊徳の考え方を少しでも引き継ぐことができればと勉強しております。尊徳の教えの中で有名なものに、勤労・分度・推譲・至誠の四つがあります。勤労は一生懸命働くこと、分度は分をわきまえること、推譲は他に譲る心・奉仕、至誠は他の三つを支える精神性「誠を尽くすこと」です。誠とは他人から評価されることでなく、自分自身が先祖や天に恥じない生き方をしていることと教えられました。

その四つと別に大事なこととして『一元観』があります。勤労・分度・推譲・至誠は縦に連なるものでなく円になってぐるぐる回っていくものという考え方です。尊徳は持続可能性をとっても大切にしていました。続けることで真の復興がなる。その理念は共感できます。私も25歳で長く続く会社を継いだ時に、一気に一旗揚げたい気持ちもありました。しかし持続可能な、次に繋げることが重要だと尊徳を勉強しながら感じました。一過性の劇薬投与で治すのではなく、生き方から治すことを望んだ人だったと考えています。

尊徳が活動する中で一番大変だったのは、やはり人の心を動かすことではなかったでしょうか。人の心を変えるのは難しいものです。尊徳の教えの一つ、分度は経営計画に繋がります。尊徳の七代目のご子息とお話した中で「尊徳はメモ魔・記録魔だった」とお聞きしました。

様々な土地で分度を定める時、過去の記録を全部見たそうです。それで石高を定め、支出を見極めるのです。分度は経営計画でもありますが、実践するのは人間です。人の心を変えるのに尊徳は非常に苦労しました。成田山に籠り断食をして、自分の心と人の心と戦っていたそうです。私も勉強していつかこれを本当に経営に活かすことを考えた時に、分度に応じた生き方は厳しいなと思いました。夢が無いんじゃないか、枠を決められてそれに合った生き方をするのは寂しい、と感じてしまいます。でも報徳会館の草山司宮に「その先の推譲に夢を託したのでは。余った力や時間を他者に使っていくことで他者が栄える、その中に夢を見つけたのではないか」とお聞きして納得いたしました。ロータリーも同じで、他者のために動くことで自分の生き方や生きがいを見つけれられると考えられるようになりました。

尊徳が今の日本の首相になったらどんなことをするのか想像したりもします。日本は分度に応じた経営をしているのか？我々は分度に応じた生き方をしているのか？改めて考える機会を与えてくれます。

加藤家は二宮先生から大きく二つの仕法をいただきました。一つは事業継承について。三代目には息子が二人いました。弟がよく仕えていたので、弟にも少し財産を分けてやりたいと相談したら、尊徳の返事は「資産を分けるな」。「今日の前の愛情に捕らわれて後年の憂いを考えていない」と指導されたそうです。弟に分けてその子供たちが資産を守れるか？問題が起きた時にもっと欲しいと争いにならないか？という教えです。もう一つ。四代目の義兄の米屋が飢饉の時に売り惜しみをして打ち壊しにあつてしまいます。しかも売り惜しみをしたのが悪いと投獄され二年間も出られませんでした。なんとか助けたいと相談すると「本当に助けたいければ、義兄と同じ厳しさや苦しさを共に味わう覚悟がないとだめだ」と言われます。妹である嫁の家財一式売り払って助けますが、義兄は恨みが残り周囲とうまくいきません。尊徳の教えで自分の行いを反省し財産全て寄附すると、それを基金として地域の助け合いが始まりました。その助け合いで義兄も嫁も少しずつ財産が帰ってきたということです。本当に世の中は一円で繋がっているのです。また、人の心は何かの覚悟を持って接しなければ変わっていかないと感じました。自分だけ良ければ、ではなく皆が良ければという考え方を持つには厳しさも必要です。それが加藤家の教訓となりました。

